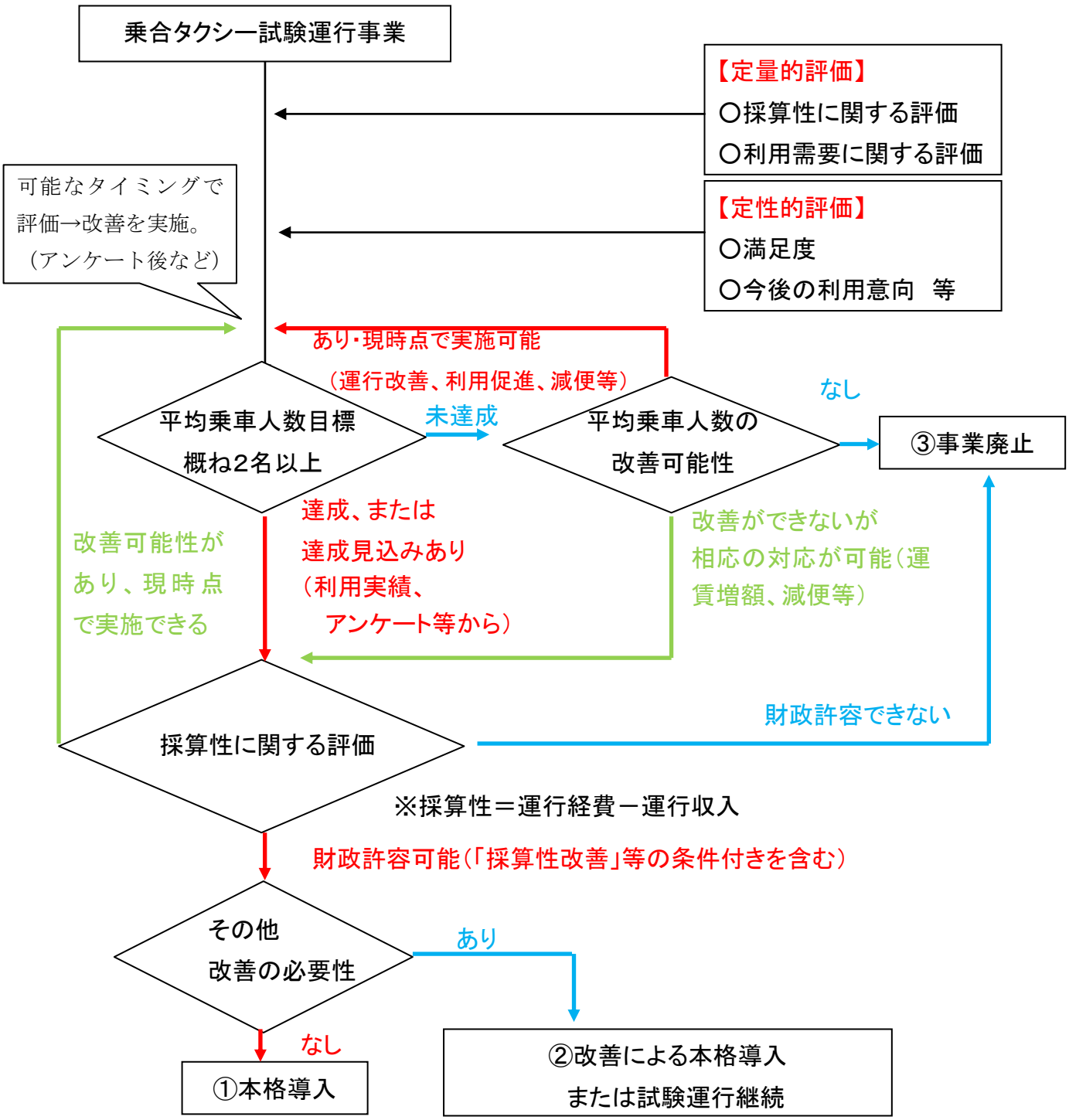
実施事業の評価（案）

【評価手法について】

- 今回実施した乗合タクシー試験運行事業を、定量的側面（「平均乗車人数」「採算性に関する評価」）及び定性的側面（満足度、改善に向けた評価項目等）から評価する。
- 定量的側面の評価結果により、「平均乗車人数概ね 2 名以上」「採算性に関する評価」をクリアした場合、「①本格導入」または「②改善による本格導入または試験運行の継続」とするが、定性的評価により課題がある場合は運用面等の改善後に導入の検討を行うものとする。



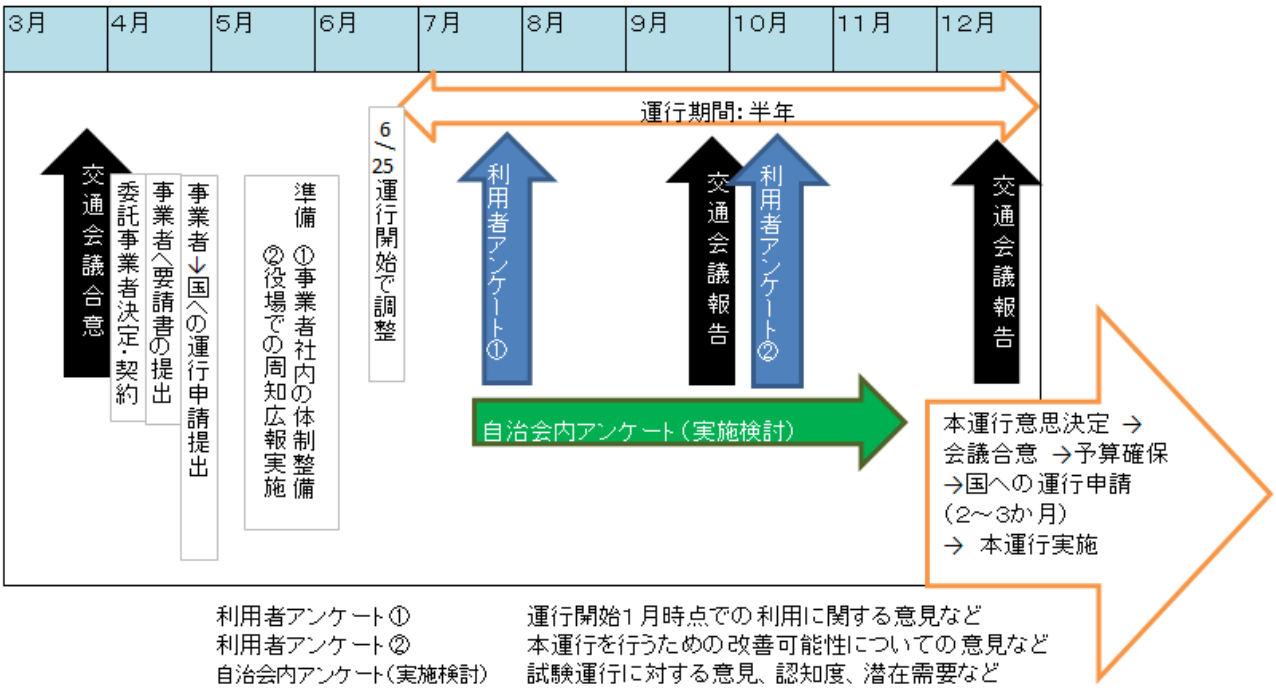
【評価項目】

- 評価項目は、定量的評価と定性的評価別に下表の項目とする。
- なお、下表の項目について各種調査でデータ収集および集計を行う。

（本格導入の可否判断のベースとなる評価項目）

視点		評価項目	データ取得方法
定量的評価	採算性	・財政負担額 （運行経費―運行収入）	・利用実績データから ※乗車実績は定期的に 自治会へフィードバック
	利用需要	・総利用者数 ・便あたり利用者数 等	
定性的評価	住民満足度	・住民満足度 ・今後の利用意向回答率 等	・利用者アンケート （車内で配布） ・自治会アンケート （自治会で配布） ※その他、必要に応じて 意見交換会を実施。
	不満要因	・ダイヤ・便数 ・運行ルート ・料金 ・その他	

【評価及び今後のスケジュール案】



利用者アンケート①　運行開始1月時点での利用に関する意見など
利用者アンケート②　本運行を行うための改善可能性についての意見など
自治会内アンケート（実施検討）　試験運行に対する意見、認知度、潜在需要など